

2018年10月12日 第3263回例会

於： 横須賀商工会議所

- <点鐘・開会> 12:30 北村 会長
<斉 唱> 「手に手つないで」
<ゲスト紹介> *通訳 高橋 栄子 様
<会長報告> *新会員入会 井口 明彦 会員



*第1グループ会長・幹事会 報告

- ・9月新クラブ誕生：相模原かめりあRC（会員28名全員女性）
- ・今年度「新会員の集い」：3月横浜にて開催

*ガバナー事務所より

- ・2019-2020年度ガバナー補佐/オンツウ・ホノルル国際大会委員会
委員就任委嘱 小林 康記 会員
- ・第31回全国ローターアクト研修会 仮登録の案内
2019年4月28日（日）～29日（月・祝）
於：福岡国際会議場/福岡サンパレス

- <委員長報告> *社会奉仕委員会 物井委員長よりポリオ撲滅募金活動について
・11月4日（日）Dobuita Bourbon Street ライブ会場周辺

- <幹事報告> *例会後第4回理事役員会開催
*ガバナー月信10頁 横須賀RC掲載
*10月14日（日）地区大会について

- <出席報告> *出席委員会 福西委員長より10月12日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
122名	110名	75名	35名	8名	75.45%

<ニコニコ報告>

- ・鹿島、山田(豊) 両会員 誕生月祝いとして
- ・織茂、岡田、土田、平松 各会員 入会月祝いとして
- ・三 役 本日は新会員卓話 齋藤 隆会員『海洋立国、技術立国を支えた横須賀』“スゴイ横須賀” 楽しみにしております。
- ・八 卷、小平、瀬戸、山田(豊)、梁井、高橋(剛)、山 岸、明野、吉田、長坂、飯塚、中村(剛)、大竹、福西、上林、波島、長尾、若麻績、平松、徳永、齋藤(眞)、長堀、土田、澤田、中村(田)、松本(剛)、鹿島、平田、杉山、小佐野、岡田、根岸、高橋(剛)、Enora、門井 各会員 齋藤隆会員、本日の卓話宜しくお願ひします。灯台下暗し。横須賀の魅力教えてください。
- ・齋藤(剛) 会員 久し振りの卓話、キンチョウするな〜!!聞いて下さいね!!
- ・三 役 井口明彦会員、本日は入会おめでとうございます。ローターライフをお楽しみください。

- ・八 卷、角 井、山 崙、前 川、渡 邊、猿 丸、丸 山、飯 塚、中村 隼、松 村、若麻績、前 田、平 松、齋藤 眞、澤 田、臼 井、勝 見、高橋 倫、Enora 各会員
井口明彦会員、入会おめでとうございます。どうぞローターライフをお楽しみください。
- ・井 口 会員 伝統と格式高い横須賀ロータリークラブに入会させていただきありがとうございます。観音崎京急ホテルの井口でございます。よろしくお願ひします。
- ・福西出席委員長 昨日、出席委員会で企画致しました逗子RCへmake upに行つて参りました。ご参加頂きました皆様、有難うございました。
- ・加藤 倫、瀬 戸、八 卷、勝 間、澤 田 各会員 10月11日(木)、逗子ロータリークラブにmake upに行つて参りました。逗子RCの温かなおもてなし。とても楽しいひと時でした。また皆さん！行きましょう！
- ・山田 隼、小林 隼、小佐野、八 卷 各会員 ローターアクトのピザパーティー、齋藤会員、今年もおいしい料理をありがとうございます、腹いっぱいでした。その後も大変でした....
- ・八 卷 会員 明日13時から商工会議所1階で防災セミナーを開催します。ご興味のある方はぜひご出席ください。
- ・高橋 倫 会員 江沢先生より写真を頂いて
- ・北 村 会長 写真をいただいて

<新会員卓話> 「海洋立国、技術立国を支えた横須賀」 “スゴイゾ横須賀”

齋 藤 隆 会 員

過分な紹介ありがとうございます。ただいま紹介にあずかりました齋藤です。老体に鞭打つて準備しました。北村会長から言われましたので自己紹介もきちんとやります。

【スライド投影】

これが1970年、防大4年生のころの写真です。本当はもうちょっと格好いいのですが、50年近くなるとこのようになるのですね（現在の写真）。皆さんも気を付けてください。特に頭。横須賀高校では陸上をやっておりまして、1年先輩が全国総合優勝し、我々は神奈川では優勝しました。

私は潜水艦乗りなのです。最初、若い時は小さな潜水艦、750トンくらいの豆潜水艦に乗っておりました。この頃は、ただ訓練だけやっていたらいい、のんびりとした、まあポシャンポシャンとただ潜つて、甲羅干しから水に濡らすくらいのものでした。観艦式の時、昔は潜水艦の頭を海上に出せました。今の潜水艦はこんなに頭を出せません。北朝鮮じゃありませんけど、曲芸する為に潜水艦を持っているわけじゃないので。皆さんに見せる為に持っているわけじゃないので。艦首にソナー、音を聞くハイドロフォンがあるのですが、昔は鉄で出来ていたのです。鉄で出来ていると音がなかなか入ってこない。今のやつはファイバーというか合成樹脂でつくっており、強度がありません。だから上がったって頭を出すことができません。そういう芸当はできません。まあ、こんなカッコいい事やってますけど、艦内はガチャガチャで、コップは割れるし、冗談じゃないよ、という感じでやっております。

海幕長時代、外国の高官と話をした時、「お前は大臣に何人くらい仕えたんだ」と聞くから「8人だ」って答えたら「異常だね・・・」と言われまして。【歴代長官・大臣写真投影】こちらは豊洲問題の小池さん、こちらは前の文科大臣（林氏）、石破さん若いですね・・・、高村さん、額賀さん、大野さん、久間さん、



浜田さん。プリントにはこれ入れてません。あの野郎余計な事喋ったなって、仕事がなくなるといけないので。

昨年3月に戦艦陸奥の主砲の横須賀への里帰りが無事終了しました。皆様には本当にお世話になりました。今、年金生活に入りましたが、横須賀に生まれて生まれ、横須賀にこだわりを持つようになってきているというのが今の状態であります。

次に本題に入っていきますが、商工会議所90周年記念行事が11月17日実施されます。よこすか未来創造検討委員会で市政に対して何かプロポーズできる事はないかと依頼を受けました。横須賀の歴史を顧みて、色々な資料をみてまとめたらパワーポイントで100枚くらいになりました。それを全部話していたら今日の夕方になってしまいますので、この1枚に全てを凝縮しました。これをもってどこかで話をさせていただければ「スゴイネ」と言われると思いますのでよく見てやってください。横須賀の凄さを再発見したというのが偽らざるところであります。それでは1枚紙の中身を解き明かしていきたいと思います。

1853年（イヤでゴザんす）に浦賀に黒船が来航。200年あまり大型船の建造を禁止してきた江戸幕府ですが、「浦賀造船所」を造り、鳳凰丸というのを造ります。そこは今の造船所の跡地ではなくて、京浜急行の駅のすぐ横にあった川をせき止めて小さなドックを造って。今「西郷どん」やってますが、咸臨丸はあそこから30日くらいかけてアメリカ西海岸まで行ってます。そういう意味では浦賀というのはエポック的な所です。

このあと、小栗上野介とフランス人のヴェルニーが「横須賀製鉄所」を造ります。鉄を作っていたのではなくて鉄器ですね、全ての鉄の製品をここで作ってた。江戸末期から明治初期まで続きましたが、明治維新の大革命の中でよく生き残ったものだと先人の苦勞に頭が下がります。横須賀製鉄所というのはフランスに大借金をして造ってるんですよ。あの時代、ハンドリングを誤ったらフランスかイギリスの植民地になっていたかもしれない。下手打ってたら横須賀は香港になってたんじゃないかとも思いますよ。歴史の「if」なんですけど。この製鉄所の水道とか電気、今でいうとエンターテイメントスポットだったのではないかと思います。

その後、だいたいみなさん海軍工廠と考えるのですよ。私はその前に「横須賀造船所」、これが一番大きな役割を果たしたと思う。これをよく覚えておいて頂きたい。明治4年に「横須賀製鉄所」が「横須賀造船所」に変わり、1903年の日露戦争の2年前まで、約30年続きます。小さい船は自分で造れますが、大きい船は造れません。三笠だとか。だからイギリスなどから輸入してノウハウを得て自分で造れるように学んでいったということでもあります。

そして「造船所」は「海軍工廠」となり、横須賀から呉、佐世保、舞鶴と広がっていったのです。この時には国産一番艦、大型の戦艦長門というのが呉で造られるようになる。世界はこれを見てびっくりするのですね。そのあと二番艦の陸奥が横須賀で造られるわけです。その後、横須賀はどうなるかというと、第一次大戦後の海軍縮小時代に入り、戦艦が造れなくなり航空機にシフトしていきます。追浜の海軍航空技術廠です。これは総合産業ですから都会に近いところでないといけない。エンジン、電子機器、いろんなものが必要。戦艦と違って飛行機はマスプロダクション。同じものを何千機も作らなきゃならない。第一次世界大戦後、3番艦の信濃が横須賀で造られます。戦艦で造られましたが、途中で空母に改装されました。残念ながら90%くらいできたところで、紀伊沖でアメリカの潜水艦に雷撃され撃沈された悲劇の船であります。

これらが今どうなっているか？鋼材加工技術は今の大型電力タービン軸などに繋がっている。造船技術は深海潜水艇など海洋開発分野へ繋がっている。航空機機体開発は新幹線の構造設計に繋がっている。航空機のガソリンエンジン開発は自動車工業へ繋がっている。ロシアバルチック艦隊の監視には横須賀造船所で開発された「36式無線機」が大きく貢献しましたが、その「通信技術」は電気自動車やロボットに繋がり、「蓄電技術」はリチウムイオン電池に繋がっています。制御する部分とエネルギーを与える部分が相まって、IT技術が進んできているということでもあります。そして一番でのポイントは、100何名の、本当に優秀な技術者が横須賀の「巖倉」で育っていくわけです。この人たちが巣立ち、日本全国に散らばっていくのです。まさに横須賀は人財教育のマザーランドであると思っています。

これで最後です。スゴイ横須賀 さきがけの街 横須賀 明治の初め、世界の一流国を目指し急な坂道を駆け上るとき、横須賀製鉄所、造船所は鉄を鑄て船を造り、人を育て技術を育み、この国の近代化の扉を開いてきた。潮の香かがよう追浜に創られた航空隊は、この国に空と陸の翼を与え。波に抱かれた観音崎

の灯台は、光を灯していく手を照らし、この国の栄えをもたらした。新たな年号が始まるこの時、さきがけの街、横須賀を掘り起こそう。

「スゴイゾ横須賀、ここは横須賀~~~~♪」

(※自作ロボットが歩いて転ぶ動画投影)

<閉会・点鐘> 13:30 北村 会長

週報担当 山田 豊